

日・赤・さいたま



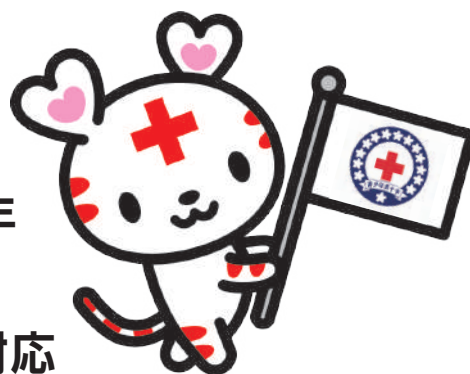
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

埼玉県支部

2022夏
vol. 149

【特集】 ①青少年赤十字創設100周年
ー未来のあなたへ、やさしさを。ー

②ウクライナ人道危機への対応
ー赤十字の役割とはー



100年の思いを
これからも





やさしい思いを行動に

オンラインで心肺蘇生の練習をするJRCメンバー



VOICE

青少年赤十字(JRC)は、活動に参加するメンバーのほか、多くの関係者に支えられています。
今回は、それぞれの目線からみたJRCについて語っていただきました。

青少年赤十字メンバー

さいたま市立浦和高等学校
ガーナー・アンジェリー・すみれ
さん

安心して実行できるフィールドがJRC そこでの経験が自信につながった

中学生の頃、海外旅行でストリートチルドレンを見たことをきっかけに「誰かの為に行動したい」という思いが強くなりました。高校生になった私は迷わずJRC同好会に入り、現在は会長として活動しています。

途上国にワクチンを届けるためのペットボトルキャップ回収などのほか、国際交流や海外救援金の募金活動も行っています。

JRC同好会では、メンバーが企画を出し合って活動を決めています。私は会長として、みんなが意見しやすい雰囲気を作ること、そして、誰よりも世界で起こっていることに興味をもち、様々な視点で考えることを大切に活動しています。

世界の赤十字メンバーとの国際交流を実現させるため、人生で初めて企画書も作りました！先生や日赤の方は、高校生の私にも妥協することなく、もっと良いものにするための方法を教えてくださいました。このように「やってみたい！」と思ったことを実行できることがJRCの魅力です！

私の夢は、国際弁護士として「世界中の困っている人を助けること」です。そして世界中に友達をつくれたら最高ですね(笑)

この夏からアメリカに留学します。現地では、語学力を磨くことはもちろん、世界から集まる仲間から刺激を受けながら自分の知見を広げていきたいと思っています。



青少年赤十字指導者

越谷市立武蔵野中学校
井澤 一浩 先生

「気づき・考え・実行する」の 目標に魅せられ31年 自分にとっての学びの場でもあった

教員になり、初めて着任した学校で担当したのがJRCでした。それから31年になりますが、その間ずっとJRCに携わっています。

JRCの魅力は、「気づき・考え・実行する」という態度目標に尽きると思います。JRCは、指示のない中で、どのように子どもたちに気づかせるか、そこからどう行動に移していくかを実践する中で学ぶのですが、これって生涯にわたって大切な能力なんですよ。

しかし、学校では時間の制約などもあり、どうしても教員が指示をしてしまうことが多いので、子どもたちが指示待ちになってしまうことがあります。だからこそ、学校内外の学びの場としてJRCの役割は大きいのだと思います。

JRCの研修を終えた生徒が、学級に戻ってリーダーシップを発揮しているところを見ると、嬉しいものです。

私自身、新任のころから関わっていることもあり、活動を通じて多くの先生と出会い、JRC活動のことや日頃の学級経営のことなど多くのことを学ばせていただきました。

今後は、若手の先生にもっと参加していただけるよう、魅力を発信していきたいと思っています。





青少年赤十字マーク

青少年赤十字(Junior Red Cross通称「JRC」)は、子どもたちの健やかで豊かな成長を願う先生方と赤十字との出会いから、1922年(大正11年)に誕生しました。

その思いは今につながっており、埼玉県内では617校(園)、約20万人(令和4年3月31日現在)のメンバーが、それぞれの学校や園で特色ある活動をしています。

創設100周年を迎えた今年、「未来のあなたへ、やさしさを。」をスローガンに、全国のメンバーと「つなぐ、つづける、つくる」活動を進めます。

青少年赤十字とは？

青少年赤十字(JRC)は、「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し、育てる事業です。やさしい心から見た課題を「気づき」としてとらえ、友人などの他者と協力して「考え」「実行できる」主体性を育てます。

健康・安全

自分やみんなのいのちと健康を大切にする。



奉仕

社会のため、人のためにできることから実行する。



国際理解・親善

世界のことを知り、仲良く助け合う。

活動の中で「気づき・考え・実行する」力を養います！

次の100年を見据え、さらなる活動を進めます！

つなぐ

全国のメンバーや指導者の思いと活動をつなげます。

つづける

100年前から続く地域に根差した活動をこれからもつづけます。

つくる

「やさしさの輪」を広げ、新たな歴史を作ります。

青少年赤十字卒業生

埼玉県青少年赤十字卒業生奉仕団

委員長 加藤 緩風 さん

多くの出会いと経験が私を変えてくれた

高校生の頃、国際文化交流部に入学したことがきっかけでJRCと出会いました。顧問の先生に誘われてJRCの活動を始めましたが、当初は赤十字に携わりたいという思いよりも、国際交流を通じて語学の習得をしたいということが目的でした。

活動への向き合い方が変わったのは、1年生の時に参加した全国スタディー・センターです。この研修は、全国から選抜されたメンバーが集いリーダーシップを学びます。

国際交流を目的に活動していた私は、他県のメンバーに比べJRCでの活動歴が浅く不安なこともありましたが、しかし、だからこそ多くのことを学んで帰ろうと、積極的にアクションを起こし頑張ったことを覚えています。

もともと誰かのために行動したいという思いは強い方でしたが、全国で頑張る仲間の熱気に触れたことで、その思いがさらに強くなったとともに、思いを行動に移す方法も鍛えられた経験でした。

その後は、埼玉県内でJRC活動をしている高校との協議会の会長を務め、他校も含め多くの仲間と色々な経験をしました。活動を通じて、自分の視野を広げることができたように思います！

現在はボランティアとして赤十字の活動に関わっていますが、今後はボランティア同士、また地域や他団体などとの繋がりを広げ、「人道の輪」を大きくできたら嬉しいです！



元青少年赤十字指導者

埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団

委員長 高橋 裕一 さん(元小学校長)

「優しい心」が自然に身に付く

それが学校教育の土台に

相手の立場に立って考え、行動することを普段の生活の中で習慣化できるのがJRCの魅力だと思います。

私は、子どもたちの人間性や人格を作る小学校の教員でしたから、心の教育を大切にしてきました。

しかし、「優しさ」は教えられるものではなく、子どもたちが自ら考え、実践を通じて自分のものにするからこそ身に付くものです。そこで、JRCの「気づき・考え・実行する」という態度目標を生活化させようと努めました。結果として、いじめの防止など学校が抱える問題解決にも繋がったと思っています。

JRCをきっかけに地域の方にも様々な面でご協力いただきました。子どもたちも自分が地域の一員であるということを感じ、「奉仕の心」を身に付けることができたと考えています。

JRCが創設100周年を迎えたとのことですが、誕生から現在に至るまで、考え方や活動内容が大きく変わっていないのは、この活動が人間の原理・原則に則り、筋の通ったものだからだと思います。

現在は、赤十字ボランティアの一員としてJRCを多くの学校・先生方に知っていただく活動をしています。

今後も、子どもたちの豊かな心を育てるJRC活動がさらに発展することを期待しています。



ACTION (令和3年度活動の一部)



医療従事者へ感謝を届ける活動
(深谷市立上柴中学校)

奉仕



東京五輪会場最寄り駅草花装飾活動
(埼玉県立川越総合高校)



大雨災害義援金の募金活動
(上尾市立太平中学校)



救急法講習会の受講
(ふじみ野市立花の木中学校)



11月11日「渋沢栄一の日」にちなんで
青い目の人形フレンドシップドール交流会
(深谷市立八基小学校・越谷市立大沢小学校)

国際理解・親善



防災ゲームを活用した学習
(嵐山町立嵐山幼稚園)



香港赤十字ユースメンバーとの交流
(埼玉県立常盤高校、さいたま市立浦和高校、正智深谷高校)

健康・安全

埼玉県警察とコラボ！「川の安全な利用啓発動画」を公開！ 「川の国埼玉」安全な水遊びを！



シーズンを迎えた川のレジャー。楽しんでいる方も多いのではないのでしょうか。

当支部では、川遊びを楽しんだ思い出にしてほしいという思いから、川遊びの注意点をまとめた動画を公開しました。

動画は2本立てで、埼玉県警察の警察官にも出演いただいています。

当支部公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。



当支部公式
YouTubeチャンネル

川の危険ポイント



ライフジャケットの着用方法



埼玉県警察の救命艇による救助シーンもあります！





こころのケアを行う看護師 ©IFRC

ウクライナ人道危機への対応

「敵味方の区別なく、最も助けが必要な人を優先して助ける」 赤十字の役割とは

急激な人道ニーズの高まり、その時「赤十字」は

赤十字では2014年以降ウクライナで人道支援活動を行ってきましたが、今年2月以降、新たな局面を迎え、とりわけウクライナおよび近隣諸国の多くの人々に緊張と不安を与えています。

急激な人道ニーズの高まりを受け、赤十字国際委員会および世界中の赤十字・赤新月社において避難民への医療支援、食料・生活物資の配布、こころのケア、離散家族の再会などの支援を丸となって行っています。また、中立の人道支援団体として紛争当事者や国連と対話を重ね、連携して避難の際の安全な経路(いわゆる「人道回廊」)の確保・誘導なども行っています。



©赤十字国際委員会

避難者を乗せたバスと自家用車を
先導する赤十字国際委員会の車両

「赤十字マーク」の大切な意味 +

今回の人道危機において、「国際人道法」という言葉を耳にされた方も多いのではないのでしょうか。

赤十字は、「国際人道法」を構成するジュネーブ条約で定められた組織であり、その範囲で「中立・公平・独立」の原則のもと活動を行います。現在、ウクライナ国内において活動できるのも、赤十字が「中立」の組織であり紛争当事者と直接交渉ができるからです。

同時に、条約では赤十字マークの取扱いについても明記されています。

赤十字マークは、「攻撃してはならない」ことを示す役割を担っており、赤十字のスタッフやボランティアが人々に寄り添うためにとても大切な意味を持っています。

日本では、病院や医療を象徴するマークとして広く認知されていますが、その使用については日本赤十字社および国内法で定められた特定の組織に限られており、一般の病院や医薬品などでこのマークを使用することは禁止されています。

埼玉県支部でもー

- ☒ 県や各自治体と連携し、県内に避難した避難民への生活物資支援
- ☒ ウクライナ人道危機救援金の募集
- ☒ 戦時のルール「国際人道法」普及のための勉強会の開催

【最新の活動状況】
ウクライナ人道危機における
赤十字の対応について

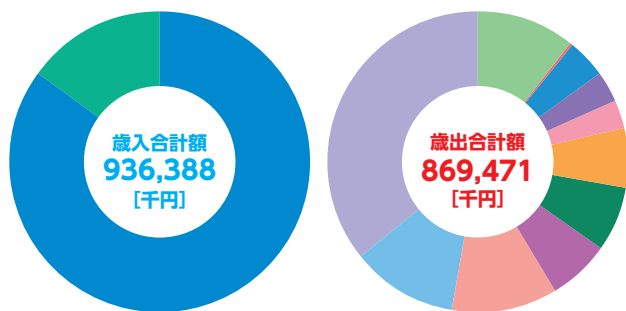


【赤十字マークについて】
「知っていますか？」
このマークの本当の意味



REPORT 会員のみなさまへご報告

令和4年度 第2回評議員会



項目	金額 [千円]
1 活動資金収入	796,382
2 事業収入・その他	140,006
歳入合計額	936,388

令和4年6月8日(水)、令和4年度第2回評議員会を開催しました。会議では、県内の会員から選出された評議員により支部はじめ県内の医療施設、社会福祉施設の令和3年度事業報告や決算などについて承認されました。改めて、皆さまからのご支援に感謝いたしますとともに、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

項目	金額 [千円]
1 災害救護活動のため	93,618
2 国際救援活動のため	2,320
3 救急法・幼児安全法等講習普及のため	35,348
4 青少年赤十字活動のため	29,786
5 赤十字ボランティア活動のため	25,734
6 救急医療活動や看護師養成のため	55,418
7 献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため	61,761
8 各市区町村での赤十字活動のため	56,631
9 赤十字会員の加入促進や広報活動のため	98,519
10 業務運営管理等のため	101,097
11 積立金	309,239
歳出合計額	869,471

◇差額の66,917千円は次年度に繰り越しました。
◇赤十字病院および社会福祉施設は施設ごと、血液センターは血液事業全体での特別会計のため、この収支報告には含まれていません。

PRESENT プレゼント

星野総合商事(川口市) 災害現場で必要とされる高品質な防災備蓄資機材の供給から、導入後の管理、アフターメンテナンスまで一貫した防災サービスを展開しています。

昭和38年、「人々の生命を守る」という使命を掲げ創業した星野総合商事。消防特殊車両など消防資機材の販売会社として事業を開始しました。その後、より人々の身近なところへ安心と安全を届けたいとの思いから、防災備蓄資機材の販売にも着手し、以来、官公庁や教育機関、民間企業まで幅広く取引しています。また、社会貢献として「人々の生命を守る」という同じ使命を持つ赤十字の事業に賛同し、寄付という形で継続した支援を続けています。

今後も、災害へ立ち向かう「挑戦と精神」で、あらゆる自然災害と現場の声にえられるよう、お客さまと地域の防災を全力でサポートいたします。



公式ホームページ

5年保存ゼリー2個セット

3.11の避難所の体験から生まれた、世界初の5年保存ゼリー。子どもから高齢者まで、食べたい時にすぐに、美味しくお召し上がりいただけます。

※アレルゲンフリー(28品目不使用)対応

協力：ベル・データ株式会社



抽選で
10名様!!

プレゼント応募方法

メール・はがき・FAXでご応募ください。

締切は**10月31日(月)**必着。

当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報は、プレゼントの発送およびご連絡にのみ使用いたします。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえ、当支部が行う広報に活用させていただく場合があります。

応募にあたって

以下の項目を明記のうえご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢
⑤メールアドレス ⑥本紙入手場所(例/献血ルーム)
⑦ご感想 ⑧ご要望(取り上げてほしいテーマなど)

※メールの際は、件名に「日赤さいたまプレゼント応募」とご記載ください。

応募先

〒330-0064
埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1
日本赤十字社 埼玉県支部
日赤さいたま担当
FAX:048-834-1520
Mail:koho@saitama.jrc.or.jp

いろいろな形での寄付方法のご案内

赤十字支援型自動販売機

飲料メーカーの売り上げの一部が赤十字の活動資金になります。



赤十字活動資金募金箱

事業者や店舗等に設置していただき、社会貢献を行っているアピールにも繋がります。



リサイクル寄付

ご自宅等にある不要なものを査定・換金し、その一部が赤十字の活動資金になります。



日赤さいたまは日本赤十字社埼玉県支部が発行する広報紙です。この広報紙は2,000円以上のご寄付をいただいている方へお送りしているほか、市区町村の日赤窓口、赤十字施設、支部ホームページなどで閲覧することができます。なお、今後送付を希望されない方は、大変お手数ですが下記の連絡先までご連絡くださいますようお願いいたします。